



ぶどうの枝

2019年
春号

天が地よりも高いように…（11）

千葉キリスト教会 牧師 磯部 豊喜

牧師インターンの2年間を終え、その後派遣された三つ目の教会は、静岡教会です。静岡教会の一年目、私ども夫婦が挑戦したのは、まず教会の近くの子供たちへの宣教でした。幸いに我が家の長女が小学校4年生として教会の近くの小学校に転入しましたので、小学生を教会に誘う道が開かれました。また教会では、教員免許の資格を持つ私の妻が学習塾の資格も習得して教室を開いたこともあります。ただ、何せ新しい教会なので、基本的にはハード面では足りないものが多く、私の働きの一部は、若き日のイエス・キリストのように、すなわち「カーペンター＝大工」作業も結構な数をこなしました。

教会と隣の土地の間にあるネット柵に、デカデカと「SDA静岡キリスト教会」という文字を加工して張ったり、学習塾に通う生徒たちのボックスを作ったりもしたのです。不器用な割には、自分なりに納得の作品ができました。また新しい教会ゆえ、新会堂の良さが生かされて結婚式の依頼も結構ありました。私の在任中（4年間）に、10組近い新婚カップルの誕生を静岡教会でお手伝いをさせて頂くことが出来たのは神様のお恵みです。

講演会は、当時下火になりつつありましたが、その流れに逆行させて、むしろ反対に年2回もの講演会を企画しました。

みことば

「御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、」と聖書に書いてあるからです（Ⅱテモテ4:2）。私の好きな言葉の一つは「蒔かない種は芽を出さない」。土地の

良し悪しはあるかもしれませんが、聖書のみ言葉の種まきは絶対に必要です。講演会時には、教会員の有志の方々と、車のスピーカーで宣伝（ウグイス嬢として録音された若



安息日の礼拝説教の前に
講壇に立つ磯部牧師

き日の妻の声 flowed）をしたことなどは良き思い出です。地道な種まきをしている間に、神様は一人二人と、永遠の命の希望を持つ方々を増やしてくださいました。

ある日のこと、Y君という精神的な弱さを持った若者が教会を訪ねて来しました。この青年、心が不安定になって私の車を足蹴りしたこともありましたが、このY君とは今でも連絡を取り合えるのは不思議なことです。妙な出会いも、後になれば祝福になるのです。

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い」（イザヤ書55:8, 9節）

「マラナ・タ18(秋季)講演会」総括

千葉キリスト教会 長老 渡邊 邦男

昨年私たちは全日本マラナ・タ18の活動の一環として、秋季講演会を11月4日から11月15日の10日間開催しました。

これは私たちにとってとても大きな挑戦でした。何故ならば、10日間の講演会に講演者として演台に立ったのは、牧師や宣教師ではなく私たち信徒だったからです。

それぞれのテーマは、V O P バイブルスクール基礎講座から引用したのですが、教材があるとは言え、未信者を対象とする証しを講演会形式にするにはそれなりの勇気が必要でした。

ある意味信徒10名というのは、その勇気を持ちやすくしたと言えるかもしれません。

「赤信号、みんなで渡れば怖くない」という笑い話がありますが、そんな雰囲気は少しは有ったのかもしれません。が、しかし、実際に講演会が近づいてみると、一人一人はそれぞれ心穏やかでは居られなかったと感じました。

それでも、実際に講演会が始まってみると、皆さん、腹が据わるというか、度胸があるというか、立派に講演会の演壇に立ち証しをされていました。

今回、このような形式で10日間の講演会を開くことが出来たのは、このような機会を牧師が用意したその勇気によるところが大きいのですが、一方で講演を引き受けてくださった信徒の勇気も大きなものがあったと思います。

ヨハネによる福音書16章32、33節にこのような記述があります。

「だが、あなたがたが散らされて自分の家に帰ってしまい、わたしをひとりきりに

する時が来る。いや、既に来ている。しかし、わたしはひとりではない。父が、共にいてくださるからだ。これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」

これは、十字架に付く前に弟子たちに語られたイエス・キリストの言葉です。

もちろん、この場面で語られた勇気は、この世での苦難に対する弟子たちの心構えとして語られたものです。しかし、私たちがこの世で自分の信仰を証しすることに、一片の勇気も必要ないと、いったい誰が言うことが出来るのでしょうか。

自分の信仰を証しするという場面が私たちに何時あるのかを私たちは知ることが出来ません。しかし、私たちがキリスト・イエスを証しせんと勇気を奮い起こすとき、私たちの背後には、聖霊が天使を伴ってキリストの御旗を振って応援して下さいなのです。

講演の内容やその講演者が素晴らしいから、信仰に導かれる人が出るのではありません。聖霊の働きが講演者を通して、聴衆に働きかけるとき、人は神を身近に感じる事が出来るのです。

つまり、この講演会に勇気を奮い起こして臨んだ信徒には、聖霊と天使が大勢で応援していたので、これを聞いていた未信者の心の内に神が近づくことがお出来になったのです。

そして、最も恵みを受けたのは、講演者である信徒だったのです。なぜなら、聖霊が彼らを励まし、支え、導いてくださっていたのですから。

SDA千葉キリスト教会 マラナ・タ18 (秋季) 講演会

講演会レポート

講演者、講演題などのご紹介

写真後列左から	講演順	⑤	①	⑩	⑥	⑦
	氏名	吉田 敏英	高幣 義嗣	渡邊 邦男	土屋 輝昌	山本 一
	講演題	聖書の神	宗教とは	祈りと教会	人間とは	十戒
	講演日	11/8 (木)	11/4 (日)	11/15 (木)	11/11 (日)	11/12 (月)
写真前列左から	講演順	④	⑨	③	⑧	②
	氏名	丸山 敦子	根本 弘子	浅川千鶴子	野中 洋子	金田 寛子
	講演題	救いとは	苦しみの 意味	救い主 イエス・ キリスト	死 終末 再臨	聖書
	講演日	11/7 (水)	11/14 (水)	11/6 (火)	11/13 (火)	11/5 (月)



講演順①～⑤の講演をぶどうの枝春号 (今回) に、⑥～⑩の講演はぶどうの枝夏号 (次号) に掲載させていただきます。講演者の素晴らしい講演録をお楽しみください。

「宗教とは」

千葉キリスト教会 児童伝道部長 高幣 義嗣

宗教とは、一般的には、人間の力や自然の力を超えた存在を中心とする観念。また、その観念体系にもとづく教義、儀礼、施設、組織などをそなえた社会集団のことである。と認識されています。更に言えば、日本語の「宗教」という語は、仏教学者の中村 元・によれば、『**仏教**に由来し、「宗の教え」、つまり、究極の原理や真理を意味する「宗」に関する「教え」を意味しており、仏教の下位概念として宗教が存在していた。ところが、幕末期に**Religion**の訳語が必要となっており、今でいう「宗教」が一般をさす語として採用され、明治初期に広まったとされている。現在、宗教は、キリスト教をイメージする用語として受容され、日本人の宗教のイメージに大きな影響を及ぼした。』と説明されています。**Religion** はラテン語の**religio**から派生したものであります。religioは「ふたたび」という意味の接頭辞reと「結びつける」という意味のligareの組み合わせであり、「再び結びつける」という意味で、そこから、神と人を再び結びつけること、と現在では理解されています。

さて、私は、無宗教だ、とよく言われる方がいます。前述の宗教の意味からすると、人間の力や自然の力を超えた存在は、無い。神と人を再び結びつけるなどと云う機会は認めない、と言う人達です。ひとつには、無宗教こそが、あたかもインテリの条件であるような風潮があり、科学や医療、IT化が進んだ世の中では、宗教など不必要だ、意味があるのか、と思われる方もいらっしゃるからです。私達は、残念なことに目に見えるものしか信じられないという先入観に支配されています。これは見えるものに重きを置く物質主義の中で私達は生活しているからです。しかしながら、お

正月には神社に初詣をし、お盆には先祖供養の為に帰省ラッシュに耐え、宗教に属していなくても、七五三になればわが子の為には神社にお参りし、何らかの宗教的儀礼を行うという矛盾した行動をとっています。そう考えると、人間は**心の働き**に、元来そのような宗教的なものがもともと備わっている方と考える方が自然ではないでしょうか。著しい近代科学の発達、物質主義を助長する側面があり、その結果は、必ずしも人類に幸福をもたらす事に繋がってはいません。宗教は、「意味の世界」です。愛することや信じること、生きている意味、善悪の問題などは、科学の分野では扱えない領域の世界です。見る事ではなく、信じる世界であり、信仰の世界です。見えない領域を信じる訳ですから、信仰を通して物事の背後にある人生の本質的意味を見出そうとする姿勢が必要です。宗教を受け入れるということは、神の存在を受け入れ、神と人を再び結びつける、この人間の本質にかかわる問題であると言えます。

イエスは言われました。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」と。私達も人間の本質にかかわる宗教を受け入れようではありませんか。



「聖書」

千葉キリスト教会 長老 金田 寛子

2018年11月、信徒による十日間講演会において私は「聖書」について話す機会が与えられました。講演の準備、実行は私にとって大きなチャレンジでしたが、なんとか神様の助けによって無事に遂行することができました。

聖書の成り立ちについて調べていくうちに聖書の驚くべき起源、統一性、耐久性、感化力、内容について改めて目を開かれ、聖書がいまも生ける神のみ言葉であることを実感しています。

「神の言葉は生きており、力を発揮しどんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髓とを切り離すほどに刺し通して心の思いや考えを見分けることができるからです。」

ヘブライ人への手紙4の12

まさにこの言葉のとおり神様の言葉は私たちの人生や魂に切り込んできます。

またそれゆえに聖書ほど激しい迫害を受けてきた本はありません。古代ローマ帝国の皇帝による迫害で聖書は徹底的に焼き捨てられ、地上から消えたかのように思われましたが、迫害をのがれた聖書が残って人々に読み継がれていきました。

「草は枯れ花は散る。しかし主の言葉は永遠に変わることがない。」

ペテロ I 1 の24, 25

また聖書自身がその感化力についてこう言っています。

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行

うことができるように、十分に整えられるのです。」

テモテ II 3の16, 17

聖書によって人生を変えられた人達を私たちは多く知っています。歴史上の人物はもちろんですが、有名な人でなくても、私たちの回りにも神様とともにある幸せな人生を歩んでいる人が多くいます。

しかしさらに聖書は尊いテーマをもっています。

「この書物はキリスト・イエスへの信仰を通して救いに導く知恵を、あなたに与えることができます。」

テモテ II 3の15

聖書は救い主なるキリスト・イエスについて確実な描写を提供する唯一の書物です。新約聖書のマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの4つの福音書はそれぞれの観点からイエス・キリストの生涯を詳しく述べています。

私たちは聖書をとおして救い主なるイエス・キリストと個人的にお会いすることができるのです。

この最高の知恵をぜひ手にいれてキリストとの出会いを体験してほしいと願っています。



「救い主イエス・キリスト」

千葉キリスト教会 長老 浅川 千鶴子

昨年はマラナタ18の講演会が各教会でもたれました。千葉教会では、11月には10名の信徒によって10日間講演会が開かれました。各々に課題が与えられ、聞く側も恵みを受ける講演会となりました。

私は「救い主イエス・キリスト」について語るにあたり原稿を求道中の友に読んでもらい感想を聞きました。「難しい」との返事が帰ってきましたがこの言葉に目が開かれました。私達にとって何のこだわりもなく使っている宗教用語が、難しい言葉としてしか伝わらないことを改めて知り、誰にでも分かるようにと書き直す毎日でした。主のみ名を呼び求めやっとな「救い主イエス・キリスト」を完成させて頂くことができ感謝しています。

救い主イエス・キリストの系図(マタイ1:1~)の中には5人の女性の名前が有りましたが、私は今まで何のこだわりもなく読んでいました。今回の講演会の恵みとして、この系図のなかにイエス様は各時代を通し如何なる人々をも救う事の出来る救い主であり、約束した救いを必ず成就して下さるという再臨の希望が与えられる素晴らしいメッセージが込められていることに気付かせて頂きました。

5人の女性の名前は、タマル、ラハブ、ウリヤの妻(バテシバ)、ルツ、マリヤです。この5人の女性達は、其々の生活の中でどうすることも出来ない苦役を担った女性達ばかりですが、ここに私達の救いの確証が有ります。イエス様はこの系図の最後に登場するマリヤからお生まれになりました。

系図の中に記されたタマルは、遊女を装い養父を騙しやっとな息子ユダの母となった女性です。当時の掟では、夫と死別した時には弟と結婚して跡とりを得るという定めがありました。次男と結婚したので

すが、不幸にも又死別してしまいました。タマルは女性の悲しみ、苦しみ、悩みを知った女性だと思います。何とかして跡継ぎを産むために、タマルは遊女を装って養父との子、ユダを得た女性とみ言葉に記されています。心を見られる神様は憐れんでくださる救い主です。ラハブは偶像の宮の神殿娼婦でしたが、イスラエルの斥候をかくまい助けたことで救われました。系図にはバテシバの名前がなくあえてウリヤの妻と記されました。ウリヤはダビデの忠実な部下でしたが、ダビデがウリヤの妻バテシバを奪い彼は非業の死をとげました。このウリヤにも救いの御手が差し伸べられウリヤの名前が書きとめられました。ここに私達の「何故死ななければならないのか」との答えがあるようです。ルツは異邦人でしたが神様を信じることで救われました。マリヤは聖霊によってイエス・キリストを身ごもるとのみ告げを受けた女性です。結婚前に子を宿すことは禁じられ、反する者は「石打の刑で殺さなければならない」との掟がありました。マリヤは神様に助けを求め、信頼して守られ「救い主イエス・キリスト」の母となった女性です。

「救い主イエス・キリスト」の系図を語らせていただき神様の愛の広さ、深さ、高さに触れることが出来ました。私達の人生の中には、神様のご計画があります。私達の現状が救い難い事のように思えても、神様は私達の弱さを憐れんで下さいます。この5人の女性達の救い主となって下さった方は、今も私達と共にいてくださいます。

私達にとって「救い主イエス・キリスト」との個人的出会いが一番大切なことを講師の方々によって、確信し、確認させて頂けた講演会でした。

「救いとは」

千葉キリスト教会 教会書記 丸山 敦子

今回、千葉教会では初めて10日間の講演会を、信徒によって行うという試みを致しました。その10人のうちの一人に選出されたことを大変感謝しております。

まず、基礎講座から頂いた私に与えられたテーマは“救いとは”でした。

“救いとは”キリストを信じる私たちにとっても、これからイエス様を信じようとしている方にも、救いと関係ない生活をしている方にとっても、大切な内容です。

なぜなら聖書の中心メッセージはキリストの救いだからです。聖書は、キリストを通して私たちに神との正しい関係に戻すための神の救いの計画が書かれている書物だと思っているからです。聖書の中心的メッセージをどのように伝えることができるのか、何を話したら良いのか、皆目わからない日々が続きました。

色々な角度から救いを考えました。何回も書き直し、締切の日がどんどん近づいてきました。そんな状態の中、私はどのようにして救われたのか、どのようにしてキリストとの出会いがあったのかを考えるようになりました。そこで与えられた聖句はルカによる福音書の放蕩息子のたとえ話と、ローマの信徒への手紙5章7節から11節の聖句でした。

放蕩息子を読めば読むほど、人はこの兄弟の兄か弟の部分があるなと思いました。自分の思いを優先して、父の元から離れる弟。父と常に一緒にいるのに父の愛が分からず不平を言う兄。そのどちらの息子に対しても愛を示される父なる神の大きさに改めて感動しました。

放蕩の限りを尽くすとは罪の限りを尽くすことであることを知りました。そんな息子が帰って来ると、父は遠くにいるうちから彼を見つけて走り寄って首を抱き、とあります。首を抱き、ということを探ると何度も何度も抱きしめるということでした。ここに神の愛があると思いました。又、兄の方は父のすぐそばに居ながら心は父のもとに居なかった。父に対して怒るとは神に対して怒ることです。そんな兄に対しても父はお前はいつもわたしと一緒にいる。わたしのものは全部お前のものだ。と言っているのです。ここにも神の愛があると思いました。

兄は神と敵対関係のままですが、キリストの死によって神と和解させていただいているとローマの信徒への手紙5章7節から11節の聖句から思いました。

講演会で話し終わった時、教会員の一人から“救い”が初めて分かった！という言葉をかけていただきました。それと未信者の一人の方から「丸山さんと神の救いの関係はまだ続いているのですね」という感想をいただきましたことは本当に感謝でした。ありがとうございました。



「聖書の神」

千葉キリスト教会 執事長 吉田 敏英

信仰の対象は「神」ですが、これから「聖書の神」、つまり「キリスト教の神」とはどのような存在なのかについてお話します。

まず、聖書の神は、「人間を造られた神」であり、「人間が造った神」ではありません。聖書は、人が神とするものを、大きく二つに分けています。創造主と被造物です。この世界と人間を造り、これに生命を与えて生かしてくださっている方と、この神によって創造され、命を与えられて生かされているもの、の二つです。

これまで多くの人々は、被造物を神として崇め拝んできています。しかし、人間が神として崇め、礼拝すべきものは、被造物ではなく、創造主でなければならない。この方こそが真の神であって、人間はこの方を神とすべきである、と聖書は言うのです。

また、聖書の神は創造主なるが故に、「全知」、「全能」、「永遠」および「唯一」の存在であることを証しするものなのです。

「全知」：この世界に、神の知らないことは何一つ存在しません。神は、過去から現代だけでなく、遠い未来に起きることも、完全にご存知です。神が、遠い未来の出来事を正確に預言することができるのは、このためなのです。

「全能」：神が「全能」であるということは、神にとって、この世界で成し遂げられないことは何一つ無い、という意味です。

「永遠」：神は「永遠」の存在であります。神には始まりがなく、終わりもなく、常に今この時に存在するのです。

「唯一」：世界には、人間から拝まれている

様々な偶像が存在しますが、それらは実在しない神々であります。万物を創造した神は「唯一」であり、聖書の神だけが、生きていて、私たち人間と人格的な交流を持つことができるのです。

人は、創造主なる神に背くという罪を犯したため、永遠に死ぬものと定められました。しかし、人をこよなく愛される神様は、御子イエスをこの世に送られて、その身代わりの死によって、人間に再び永遠の命を与えると約束しています。神が「全能」であるために、私たちはその約束に、信頼と希望を置くことができるのです。

イエス・キリストを救い主として受け入れ、永遠の命をいただく恵みに与かりましょう。アーメン



79回を迎えた「菜食料理教室」

千葉キリスト教会 女性部・家庭会長 浅川 千鶴子

私達女性部・家庭会のためにお祈りくださいまして有り難うございます。千葉教会女性部は、東海林牧師のすすめにより、6年前に、千葉教会に与えられました。女性部の活動として菜食料理教室を翌月から始めました、今年2月で79回となりました。

菜食料理教室の目的は、料理をする事で楽しく交わり、互いにイエス様の愛のうちに憩い、頂いたイエス様の愛を他の人に示す事にあります。菜食料理教室では、ご近所の高齢者配食をメインに教会員スタッフと教会外の方々10名ほどで毎月40食作っています。祈りと賛美で始め、牧師のお話しと賛美と祈りをもって終わる世にはない交わりの菜食料理教室となっています。

女性部のセミナーで「私達は世の光、

地の塩です。教会の中の交わりばかりではなく、周りの方々と混ざりあいましょう。塩が孤立していたら何の益にもなりません」との薦めがありました。「10日間の特別祈祷」の伝道チャレンジの中にも、「救い主から多くの愛をうけたのですから、その愛を独り占めせずには他の人と分かちあおうではありませんか」と記されています。

祈りをもって自分の出来ることから始めようとの願いが菜食料理教室であり、家庭会の賛美アフタヌーンの活動となりました。また今年から児童伝道部の働きを家庭会がお手伝いすることになりました。教会のなかの子供だけでなく外の子供達ともお菓子作りなどを通して楽しい交わりが出来るようにと願っています。お祈り宜しくお願い致します。

食材を前に、
レシピを見
乍ら、菜食料理作
りの打ち合わせ



菜食料理を作り終えた後の、楽しい食事会



出来上がった菜食料理

楽しかった「ファミリークリスマス会」

千葉キリスト教会 青年会長 Y・H

2018年12月22日（土）の午後千葉教会でファミリークリスマス会が催されました。

毎年みんなが楽しみにしている「シャローム若葉」の方々による劇は、今回特別に千葉テレビで活躍中の女優、歌手である石井さとこさんをナレーション役にお招きし、劇が披露されました。九十九里集会所の方々や、市原集会所の方々によるハット・ベルや特別讃美歌でクリスマス会も楽しい雰囲気となりました。

クイズではあるクイズの答えの珍解答で会場は笑いに包まれました。

子供が参加した降誕の聖書朗読では、聖書を堂々と朗読する子供の姿にそれぞれの子供の成長を感じ、頼もしくも感じました。

シャローム若葉関係者によるアカペラの讃美歌に会場はクリスマスの雰囲気に入れ、その後の「きよしこのよる」を会場の皆さんと讃美し、充実した時間を過ごすことができました。会場の皆様へ千葉教会の子供達からプレゼントが配られました。

忙しい年末に、神様のお誕生をみなさんと一緒に感謝し、お祝い出来ましたことをうれしく思いました。

出演メンバーの皆様

「シャローム若葉劇団」の



九十九里教会の皆様による
トーンチャイムの演奏



市原集会所の皆様による特別賛美

クリスマスの贈りもの

千葉キリスト教会 コワイヤー 酒井 紀子

第6回チャーチコンサート「クリスマス・コンサート」は、2018年12月23日（日）、たくさんのお客様をお迎えして開催されました。すっきり晴れた冬の日、ひとり子イエスをこの世につかわして下さった神様に感謝して“クリスマスのお祝い”をいたしました。

今回のコンサートには楽器演奏者が12名も参加してくださいました。一曲ずつ楽しい語りも加わって、心を込めて演奏してくださいました。美しいクリスマスキャロルのメロディー、愛、生命、平和への清らかな賛美など、どの曲も豊かな音色になって流れ出て、聞いている方々お一人お一人の心に届いたのではないのでしょうか。

ヘブンズコワイヤーは、いつもながら当日参加者多数という状況にもかかわらず、全員の心は一つとなり、自由に解放された

心の中から湧き上がる感動と喜びの歌声は、会堂を満たし、聴衆の皆様の心を潤したように思います。「アヴェ・ヴェルム・コルプス」など3曲を賛美いたしました。

根本先生のメッセージは、柔和な口調で分かりやすく、“愛の神様を知ったら豊かな人生になりますよ！”とお話してくださいました。私は、イエス様の愛が多くの人々にお伝え出来たらと思いました。

コンサート後の茶話会は、いつものように多くの方々が残って下さり、ケーキ、フルーツ、カレー等を味わいながら、おしゃべりを楽しんでくださいました。心も体もほっこりと温まり、多くの皆様が“またコンサートに来ます！”とうれしいお言葉を残してくださいました。大きな贈り物をいただいたと思いました。

第7回チャーチコンサート開催予定は下記の通りです。

皆様のお越しを心からお待ちしております。

第7回 2019年4月28日（日） 14：00開演
「フィルハーモニーカンマーアンサンブル」による
ピアノトリオコンサート

「ヘブンズコワイヤー」のメンバー



3月、4月、5月の行事

◇ 第7回チャーチコンサート

☆日時：4月28日（日）午後2時開演

☆場所：千葉キリスト教会 礼拝堂

☆演奏：「フィルハーモニーカンマーアンサンブル」によるピアノトリオコンサート

☆ピアノ、バイオリン、チェロの三重奏やヘブンズコワイヤーの合唱をお楽しみください。皆様のお越しをお待ちしております。

☆コンサート終了後茶話会があります。

◇ 春の講演会（そのA、そのB）於：千葉キリスト教会 礼拝堂

☆春の講演会A ☆日時：5月11日（土） 10時30分～12時

☆春の講演会B① ☆日時：5月21日（火）～5月26日（日）

☆春の講演会B② ☆日時：5月28日（火）～6月1日（土）

} 詳細が決まりましたら、別途
 } チラシ等でご案内申し上げます。

◇ シャローム若葉「ふれあいバザー」

☆日時：5月19日（日） 10時30分～13時30分

☆開催場所：シャローム若葉 虹の家、第2デイサービスセンター敷地内（TEL：043-235-4867）。

☆各種出店・模擬店など楽しい企画が一杯です。皆様のお越しをお待ちしております。

毎月の定期集会（開催場所：千葉キリスト教会 集会室）

◇ 菜食料理講習会

☆日時：毎月、第一月曜日に開催します。午前10時～13時

☆参加費：500円 ☆どなたでもいらして下さい。

◇ 聖書セミナー

☆日時：毎月、第二（黙示録）、第四（創世記）水曜日に開催します。午前10時～11時30分

☆講師：千葉キリスト教会牧師 磯部豊喜

◇ サンセット・バイブル・カフェ

☆日時：1、3、5、7、9、11月の第四土曜日の夕べ開店します。午後5時30分～7時30分

☆心がほっとする聖書の話、素敵な音楽、楽しいおしゃべりなど、癒しの時間を共に過ごすことができると願っています。軽食とお茶を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

◇ チャレンジクッキング

☆日時：奇数月の第四日曜日。午後1時～3時。

☆対象：子供（小学生以下は保護者の御同伴をお願いします。）

☆どなたでも御参加下さい。工作づくりもあります。

安息日学校（毎週土曜日）

☆賛美礼拝：午前9：15～9：25

☆聖書の学び：午前9：25～10：40

安息日礼拝（毎週土曜日）

☆千葉キリスト教会：午前11：00～12：00

☆シャローム若葉虹の家：午前9：30～10：10

祈祷会

☆毎週、火曜日夜午後6時及び水曜日朝午前7時30分から祈祷会をしています。

SDA千葉キリスト教会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木5丁目15番1号

旧法務局前通り：3、4階 千葉キリスト教会

1、2階 シャローム若葉

電話：043(231)3620

FAX：043(231)1634

Email：sda-chiba@rio.odn.ne.jp

ホームページ：

http://www2.odn.ne.jp/sda-chiba/

★発行責任者：

磯部豊喜 牧師

★スタッフ：

酒井 闊 吉田 敏英

綿引 秀子